

日本漢方生薬ソムリエ協会主催・第4回公開シンポジウム

黄柏シンポジウム

主催：日本漢方生薬ソムリエ協会

日時：2024年7月6日（土）14:00～18:00

会場：TKP金沢新幹線口会議室 6B

参加費：3,000円（学生1,000円）（協会会員は無料）

締め切り：6月24日（月）定員50名（先着順。協会会員優先）

プログラム

1. 奈良時代から現在に至るまでの国産黄柏の歴史

演者：安井廣迪（日本TCM研究所）、笠原良二（東京都薬用植物園）、他

2. 黄柏が国産から中国産に変わり始めたころの状況

演者：小松新平（名誉ソムリエ）

3. オウバクを主原料とした伝統薬

百草・百草丸・ワカ末など伝統薬の紹介

4. 生薬学から見た黄柏

演者：佐々木陽平（金沢大学薬学部）

5. 臨床から見た黄柏1（オウバク末の使用経験）

演者：矢数芳英（温知堂・矢数医院）

6. 臨床から見た黄柏2（オウバク含有製剤の紹介）

演者：野上達也（東海大学医学部）

7. オウバクの市場品について（生薬供覧）

演者：宮嶋雅也（栃本天海堂）

—休憩—

★特別講演1：長野県小谷村におけるキハダ栽培の歴史と現況

演者：山口真保呂（長野県安曇野森林づくり企画）

★特別講演2：愛媛におけるキハダ栽培の試み

演者：山岡傳一郎（松山記念病院）

—追加発言：農学の立場から（映像参加）—

演者：渡辺均（千葉大学環境健康フィールド科学センター）

8. 黄柏の薬用以外の利用について

① 奈良県産キハダの未利用部位の成分検討と黄柏中の成分推移

演者：西原正和（奈良県薬事研究センター）

② キハダの葉と実の有効活用の検討

演者：立本行江（奈良県産業振興センター・メディカル技術支援科）

③ 幼虫がキハダを食す蝶について（演者海外出張により誌上発表）

演者：指田春喜（金沢蝶類研究所）

※懇親会を18時より同会場で行います。

事務局:黄柏シンポジウム準備委員会 kamposhoyaku-symposium@yahoo.co.jp